

平成29年度 学校だより



平成30年1月15日(月)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.9

E-mail:

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp



戌年

お年玉で子育てを



香香

平成30年が好天のもと幕開けしました。新年を迎えるたびに、気持ちを新たに、迎えた年への夢や希望を抱き、今年1年が良い年になるように祈ります。

1月9日に校門で子どもたちにあいさつをしていると、遠くからの声、近くからの声、笑顔、お辞儀をしてなど、様々な形であいさつを返してくれるようになりました。御一小の年始めのあいさつはとても気持ちよく清々しさを感じました。

平成29年度の締めくくり3学期は「感謝の花」節の始まりです。朝礼で子どもたちに、この節の合い言葉は『まず、ありがとう』と提案しました。子どもたちが自分の周りの「ひと」「もの」「こと」に感謝しながら、『まず、ありがとう』が言えるように、私たち職員から『まず、ありがとう』と子どもたちに言いたいと思います。そして、新学年、中学校生活を胸を張って迎えられるよう職員が一つになって子どもたちを支援したいと思います。

さて、子どもたちのお正月の楽しみと言え、何と言っても「お年玉」でしょう。お年玉は、目上の者が目下の者に金銭を与える習慣です。このお年玉ですが、意外と子育てには重要なんです。いただいたお年玉を子ども任せにしていることはありませんか。お年玉の子育てには、大きく分けて二つの意味があると考えています。1つには「礼儀」を育てるための方法として、2つには「金銭教育」をする方法としてです。

まず、1つ目の「**礼儀**」を教えるお年玉です。新年のあいさつをし、親戚の方々からお年玉をいただきます。いただいたお年玉を子どもたちはどのように受け取っていましたか。片手で受け取る、両手で受け取る、片手で受け取り頭を下げる、両手で受け取って頭を下げる、お礼を言って両手で受け取り頭を下げる等々様々であったろうと思います。その際に日頃の家庭の空気が出てしまいます。やっぱり、ここでは目上の方からいただくのだから『ありがとうございます』と丁寧に両手で頭を下げていただくのがよいでしょう。わが子のお年玉のいただき方はどうだったでしょうか。

2つ目は「**金銭教育**」を教えるお年玉です。いただいたお年玉を子どもにどう扱わせるかです。大切なお金ですから、キチンと使い道を考えるように仕向けましょう。いただいたお年玉を自分が今欲しいものと自分の将来のために貯金しておくものに分けることを教えるのが大切です。子ども任せにすると、将来の自分のための貯金などは考えません。将来自分が自立していくのにどんなお金が必要になるのかを人生の先輩の親と一緒に考えましょう。

このようにお年玉をきちんと捉えることで、子育てのチャンスとなるのです。皆さんの日々の生活もきちんと捉え直すことによって、子育てチャンスがいっぱいありそうですね。

本年も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(文責：竹原一人)

